

平成26年度試験研究課題一覧

三重県農業研究所

No.	研究課題名（主担当課・室名）	研究期間
フード・循環研究課		
1	伊勢茶等を活用した機能性・高付加価値商品の開発(リーディング・骨粗鬆症)	H24～27年
2	健丈な骨の維持に！高機能性かんきつを創る	H26年
3	麦類で増加する黒節病などの種子伝染性病害を防ぐ総合管理技術の開発	H25～27年
4	水田転作による土壌緩衝能低下に対応した腐植質資材の開発	H26年
5	農業環境価値創出支援事業	H26年
6	県内から排出される未利用バイオマス資源利用技術の開発	H26年
7	土壌適正管理調査・指導事業(有機物連用試験/土壌機能実態モニタリング調査)	H26年
8	亜臨界水処理有機液肥による地域内有機質資源循環農業システムの構築	H25～29年
9	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査	H26年
10	土壌洗浄処理技術実証調査	H26年
地域連携研究課		
11	農作物被害を軽減するための包括的な獣害対策技術・手法の確立	H24～27年
12	ICTを用いたシカ、イノシシ、サルの防除、捕獲、処理一貫体系技術の実証	H26～27年
13	農福連携・障がい者雇用推進事業	H24～27年
14	新たな農業の担い手発掘事業	H25～27年
15	農地集積情報等による集落経営体育成手法の確立(集落営農組織企業化支援事業)	H23～26年
16	収穫翌年に収穫可能なニホンナシ根圏制御栽培法による省力多収技術体系の実証	H26～27年
17	ナシの少花受粉による摘果の省力化および枝誘引器具の実証	H26年
18	園芸作目の安定生産に関する研究	H26年
19	狙ったカキ果実のみを残す省力的な薬剤着果管理法の開発	H26年
農産物安全安心研究課		
20	ミナミアオカメムシの分布域変動とその予測	H24～27年
21	イチゴ炭疽病・萎黄病の診断法の開発	H25～27年

22	薬剤抵抗性菌未発地域における防除体系の確立と効果検証(QoI 剤)	H26～28 年
23	発生予察調査実施基準の新規手法策定事業	H22～26 年
24	農業環境価値創出支援事業(水稲栽培における生物多様性指標の選定と評価)	H24～27 年
25	食の安全・安心確保対策病虫害防除推進事業	H23 年～
26	新農薬の防除効果に関する試験	～H26 年～
農産研究課		
27	みえの多彩なお米商品の開発と戦略的販売体制の構築(リーディング)	H24～27 年
28	温暖化に伴い発生が増加するごま葉枯病に対するイネ抵抗性遺伝子の解明	H23～26 年
29	イネのDNAマーカー選抜育種支援システムの構築(いもち病に強い三重 23 号作出)	H25～29 年
30	実需者等のニーズに応じた加工適正と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26～30 年
31	原種及び奨励品種決定調査事業 優良品種の選定	～H26 年～
32	硬質小麦タマイズミの縞萎縮病と穂発芽抵抗性を強化した「スーパータマイズミ」の開発	H26～29 年
33	「結びの神」安定生産のための栽培技術開発	H25～26 年
34	飼料用イネ品種「たちあやか」の栽培技術と三重県適応性の解明	H26 年
35	水稲・大豆除草剤の実用化に関する試験(植調)	H26 年
36	東海・三重における湿害回避技術を用いた水稲・小麦・大豆による大規模個別型水田高度輪作体系の実証(温暖地水田輪作)	H26～27 年
37	大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立(大豆加湿条件下)	H25～26 年
38	小型汎用コンバインの分散小区画圃場に対する適応性	H25～26 年
39	高速汎用播種機現地実証試験	H26～27 年
40	水田を活用した資源作物の効率的生産・供給技術の確立	H26 年
野菜園芸研究課		
41	実需者のオーダーに的確に対応する新しい野菜生産システムの開発(リーディング)	H24～27 年
42	植物工場パイロット事業(県単・財収分)	H26 年
43	施設の効率的周年利用技術・高収益施設園芸システムの構築(アシストプロ)	H22～26 年
44	トマト栽培における生産性向上のための CO2 施用技術の開発	H24～26 年
45	半閉鎖型管理(SCM)による施設果菜・花き類の生産性向上技術の実証研究	H26～27 年
46	植物ゲノム情報の利用および最適栽培管理システムの導入による太陽光型植物工場における体系的な高品質栽培技術の開発(SIP)	H26～31 年

47	種子イチゴイノベーションに向けた栽培体系と種苗供給体制の確立	H25～27年
48	三重ナバナの優良系統選抜	H25～27年
49	植物工場を利用したイチゴ生産による福島県川内村の震災復興	H25～26年
花植木研究課		
50	薬用作物産地形成のための増殖法・栽培法の検討	H26～28年
51	薬用作物シャクヤクの栽培産地拡大	H26年
52	新農薬の実用化に関する試験	H26年
茶業研究室		
53	伊勢茶を活用した機能性・高付加価値商品等の開発(リーディング)	H24～27年
54	茶育成系統評価試験	H26年
55	地域の技術を活かした再エネ・省エネ対策 FS 調査 (恒常的光制限下におけるチャの生育反応評価)	H26～27年
56	農産物輸出促進のための新たな防除体系の確立・導入事業	H26年
57	実需者の求める色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発	H26～30年
伊賀農業研究室		
58	麦立毛間水稲直播栽培を導入した省力的飼料用稲－麦二毛作栽培技術の開発	H22～26年
59	県内実需者が求める新しい大豆品種の適性試験	H26年
60	ナタネ安定的原料供給による新搾油商品の開発	H25～27年
61	高品質種子供給技術の開発	H26年
62	青蓮寺開畑地内におけるブドウ晩腐病の発生状況調査	H26年
63	新たな販売形態「粒ブドウ」出荷を実現する省力生産・貯蔵技術の確立	H26～28年
64	ブドウの新ドライフルーツ製造法及び省力花房管理技術の開発	H26年
紀南果樹研究室		
65	東紀州フルーツ商品の開発(リーディング)	H24～27年
66	マルチ方式・ICTなどを活用した省力的な高品質カンキツ生産技術体系とその実現のための 傾斜地における園地整備技術の実証	H26～27年
67	日本植物防疫協会受託試験	H26年
68	カンキツ系統適応性検定試験	H26年
69	三重県特産カンキツの新需要創出	H26年